

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開設時からの理念のほかにユニットごとの目標などの設定がされていない。	共通の理念を持ちつつ、2ユニットそれぞれの特色を生かせる目標を職員全員で考える。	職員、個々で目標を考えてもらい、各カンファレンス時、ユニット毎の目標を立てる。年末のカンファレンス時に見直し、振り返りを行い翌年度の目標を立てる。	12ヶ月
2	35	避難誘導訓練は実施しているが、2ユニットになって自然災害については訓練が出来ていない。	自然災害について騎乗での訓練を行う。また、緊急連絡網訓練を実施し、緊急の呼び出しに対応できるようにする。	自然災害について机上での訓練の実施。連絡網訓練の実施。	6ヶ月
3	4	運営推進会議がコロナ禍でどうやっていけばいいのか、わからず、上手く取り組めていない。	まだ、コロナ禍は続いており、よりよい取り組み方を地域や役場と相談話し合っていく。開催に向けて出来る事を実践していく。	コロナ禍での取り組み之在り方を施設独自でも考え、地域、役場へ相談。コロナ禍でも地域密着に向けてその方法をきちんと提示していく。	6ヶ月
4	19	看取り時も含めコロナ禍による家族や友人との面会交流が出来ていない。	面会は出来ないが、それに代わる交流や関わりを持てるようにする。	コロナの長期化も視野に入れながら、国の支援や他の事業所とも情報交換し今に合った方法を見つける。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。